

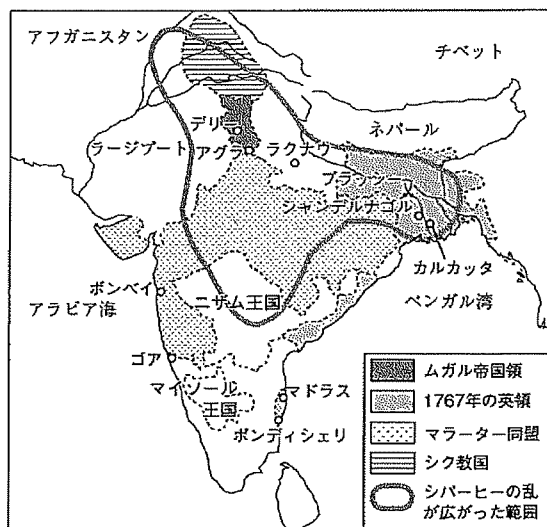
第1講

③ 第一次世界大戦は、植民地をめぐる帝国主義列強間の対立を要因として勃発したことから、戦火はヨーロッパの内部にとどまらず、かつてない規模での紛争をもたらした。しかし、人類がグローバルな紛争を体験したのは、このときが最初ではなかった。大航海時代がもたらした空間秩序は、しだいに緊密の度を強め、局地的な紛争がグローバルに波及する構造を創り出した。世界大戦のように総力戦体制をとまなうものではなかったが、これらの紛争では、先住民や移民など植民地に住む人々や、ヨーロッパの外にある独立諸国が、すでに「主体」として一定の役割を果たしていた。

問い 下線部に関連して、18世紀なかばに生じた「グローバルな紛争」について論じなさい。
(400字以内)

《解法とヒント》

植民地をめぐる対立していたのはどこの国なのかを考えてみよう。



18～19世紀のインド